

## 地域おこし協力隊の現場を訪ねて

奥出雲の「横高進路指導室のサンフラワー」vol.1



今回ご紹介するのは、8月に横田高校魅力化コーディネーターに着任した長谷川由樹隊員（大阪出身）です。横田高校1年生が、奥出雲で生きる人々の仕事観や人生観について取材を通して学ぶ「奥出雲学」。その発表会に向けた商工会の担当者との打ち合わせを取材しました。

発表会には多くの町内の方に参加して欲しいという思いで、効果的な広報の相談を進めます。まだ知らない初めての道を積極的に探っていく真剣な表情の一方で、相手のペースを気遣いつつ、表情を見て対応する細やかな心配りを感じました。今後には



誤解のないようにお互いの立場の都合をすり合わせていくことが大切。

向けて明るい希望を語る長谷川隊員は、丁寧にメモを取りながら意見をもらいます。納得する答えが見つかった後は、安堵の表情が見えました。

大切にしていることは、“地域の方の思い”と“ほどよい力で持続可能なやり方をつくること”。「地域と学校をつなぐ仕事がしたい。奥出雲の方がすごいところは、地域に誇りを持っているところ。何もないよと言いつつ、奥出雲を愛していらっしゃる。たたらで、棚田で、自然と一緒に地域をつくってきた誇り。そこから高校生も学んで欲しいと思う。高校生と、おじいちゃん、おばあちゃんつながりもつっていきたい。」と、語ってくれました。



長谷川由樹隊員

取材:坪倉(地域おこし協力隊・定住コーディネーター)

今回は、奥出雲の「ほうれん草太郎」佐藤邦和隊員です。